

内管長運輸府甲 誌 革 沿

明治29年4月から
昭和57年10月まで



内管長運輸府甲

明治5年10月14日 新橋(現汐留)~横浜(現桜木町)
間で営業開始してから110年になります

この間 国鉄は唯一の輸送機関として経済文化の
発展に多大の貢献をしてきました。

しかし、産業構造の変化、道路網の整備等他、輸送
機関の著しい発達により、厳しい競争の場に立たされて
います。

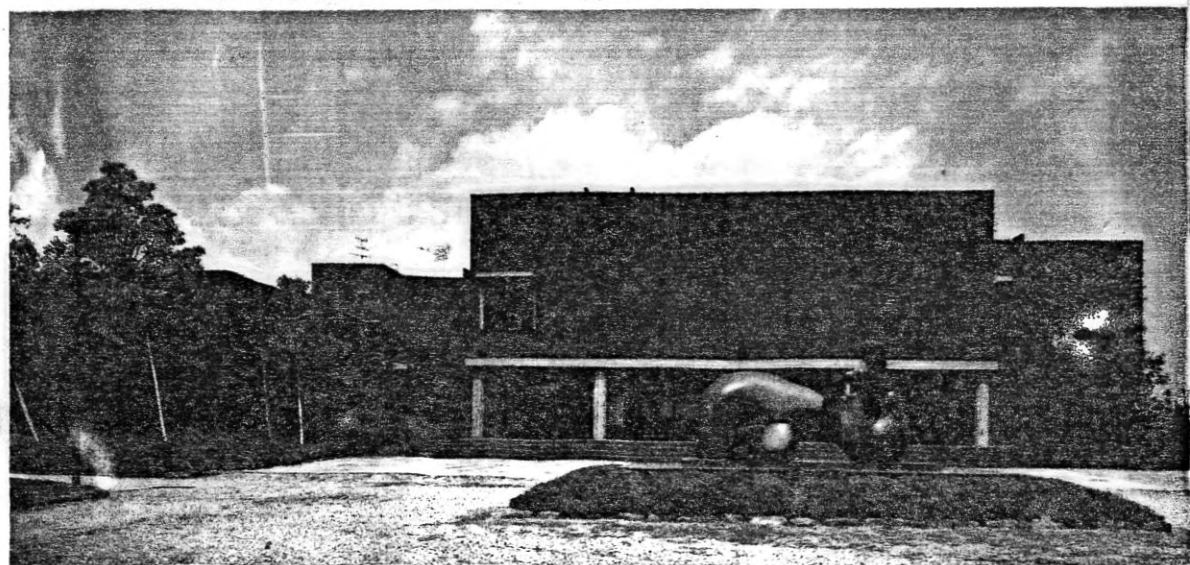
鉄道の持つ安全正確快速大量輸送の特性を再認識
する時期に來ています。

この期に中央線の変遷について思い起すのも意味深い
ものであり、管内沿革を小冊誌にまとめて見ましたので、
関係の皆様方のお身元におかれ活用されれば幸いであります。

昭和57年10月31日

甲府運輸長
小林 傑

♣ 山梨県立美術館



甲府運輸長管内の沿革

明治

29. 4 月 八王子～上野原間鉄道敷設工事着工
34. 7 25 " " 開通
8. 1. " " 営業開始
35. 6. 1. 上野原～烏沢間 開通 営業開始
10. 1. 烏沢～大月間 開通 営業開始
36. 2. 1. 笹子トンネル 開通
笹子トンネルは7年余の歳月と190万6千円の巨費を投じた大事業であった。
2. 1. 大月～初鹿野間 開通 営業開始
4. 1. 鉄道作業局甲府出張所 同出納事務所を甲府市に設置
6. 11 初鹿野～甲府間 開通 営業開始
この当時の甲府駅の1日は乗車人員600人、貨物取扱60トン、旅客賃金3等片道甲府から飯田町1円、上野原65銭、塩山8銭、大月45銭、石和7銭
6. 11 甲府棧肉庫 開設
B2型～2両 B.6型～5両配属
12. 15 甲府～笹崎間 開通 営業開始
37. 4. 1 駅弁 甲府駅に登場する。
12. 21 笹崎～小判沢間 開通 営業開始
40. 2. 14 甲府駅に公衆電話を設備する。

衣 同 時 用 強 解 用 中

((正改日一月五年四十四治明))

東 上 行		
發驛及時刻	甲府發着時刻	着驛及時刻
甲府發	午前五時〇五分	飯田町着 午前十一時十七分
上諏訪發	午前八時三十四分	飯田町着 午前八時三十分
松本發	午前十一時三十分	飯田町着 午前十一時四十分
長野發	午前十一時四十九分	飯田町着 午前十一時五十八分
松本發	午後五時十五分	飯田町着 午後十一時十五分
甲府發	午後七時十五分	飯田町着 午後十時十七分
松本發	午後八時五十八分	甲府着
名古屋發	午後十一時十分	飯田町着 午前七時十七分

印 諸
刷 版

甲府市柳町番地
淺川商店
電話七十五番

和洋紙
文具

西 下 行		
發驛及時刻	甲府發着時刻	着驛及時刻
飯田町發	午前五時	名古屋着 午後五時三十分
飯田町發	午前七時四十分	松本着 午後一時〇四分
飯田町發	午前十一時廿六分	松本着 午後四時二十六分
飯田町發	午前二時五十分	長野着 午後十時二十一分
飯田町發	午前八時四十分	松本着 午後十二時四十五分
飯田町發	午後六時三十三分	松本着
飯田町發	午後八時三十五分	上諏訪着 午前〇時五分
飯田町發	午後十一時	甲府着

明治

40. 4. 1 鉄道作業局を广止し 鉄道庁新橋営業事務
所々管となる
40. 6. 28 ささご餅 笹子駅で販売をはじめる
旅なれぬ母の記憶にささご餅。八重夫
41. 12. 4 帝国鉄道庁を广止し 鉄道院中部鉄道管理
局 甲府運輸事務所を設置する
42. 9. 13 甲府機関庫 猿橋分庫設置
機関車の検校 給水、折返し作業を行う。
43. 2. 10. 初狩駅開業
6. 1 営業開始直後の初狩駅において列車脱線
事故発生 負傷者10名 開通以来初の
重大事故であった。
7. 12 烏沢～猿橋間において列車脱線 死者1名
負傷者21名にのぼり 初狩事故から17月
たうずで発生したこの事故は死者が出た
こともあって当時のマスコミに大きく取り
あげられた。
12. 15 四方津駅開業
44. 5. 1 中央本線全線開通 飯田町～名古屋間直通
運転をはじめる。
- 大 正 2. 4. 8 勝沼駅開業
8. 1 六山駅開業
3. 3. 1 甲府車掌所開業
5. 29 初狩駅構内脱線事故発生 死者1名負傷者21名
4. 10. 1 甲府車庫所(客貨車区の前身)開設
- " 甲府通信所(甲府情報支区の前身)開設
甲府駅から電信電話交換業務を移行する。

大	正			
6	4	1	甲府機関区に 9600型機関車2両配属。 乗務員及び沿線の住民はその巨大さに驚いた。	
	11	17	甲府駅において 才ノ種機械連動装置の使用 を開始する。	
7	7	10	了瀬(相模湖)～上野原間列車脱線 負傷者11名	
	12	11	長坂駅開業	
8	5	1	組織改正 名古屋鉄道局の所屬となる	
9	5	15	鉄道院を改正し 鉄道省名古屋鉄道局 甲府運輸事務所となる	
9	6	1	甲府鉄道治療所(甲府鉄道診療所の前身) 開設 診療を開始する	
11	9	21	荻崎駅折返し線にて456列車が車止を突破 し全列車転落し転覆した 当時の記録は詳細 不明と記されている	
12	2	9	甲府駅に塵芥焼却炉を設備する (ゴミ戦争がここから始まる)	
	6	1	甲府検車所(甲府客貨車区の前身)開設	
13	2	1	長坂駅折返し線において 列車脱線事故発生 死者2名 負傷者10名	
	3	19	<u>甲府駅本屋焼失</u>	
14	4	4	甲府駅本屋新築落成	
昭	15	2	酒折駅開業	
	2	3	富士身延鉄道 市川大門～甲府間 開通 " " 連絡運輸を開始する。	
	4	6	富士山麓鉄道大月～富士吉田間 開通	

昭和

4 8 15

富士身延鉄道 金手駅開業
(S 20.7.6. 戦災で焼失. S 28.5.20. 復旧開業)

5 12 12

甲府～八王子間 電化工事進む 甲府機関庫
に電気機関車 8両配属
(ED14型2両. ED17型6両)

12 16

甲府～勝沼間 電気機関車試運転
列車番号 臨時 3050. 3051列車
編成 ED17. ED14. 7600の3両

6 4 1

甲府～八王子間 電化完成
旅客列車と電気機関車で運転

"

貫通式 空気制動器採用(全列車)
(勾配線区間の運転保安を向上)

7 1

甲府～猿橋間 貨物列車を電気機関車で運転

7 3

猿橋～八王子間 " "

12 1

甲府～飯田町間電化運転開始

8 3 17

電気時計の登場 甲府駅ほか取付ける

7 14

中央線列車の始発駅を 飯田町から新宿
に変更する

10 5 31

甲府機関庫に EF型機関車配属

7 1

塩山～笠崎間にガソリンカー登場運転開始

11 29

小海線 開通

11 9 1

甲府鉄道治療所を 鉄道診療所と改稱

12 10 1

貨物トラックによる小運送開始(トラック登場)

13 10 1

富士身延鉄道線を 鉄道省で借上げ 線名を
身延線と呼ぶ

16 4 1

D51型 甲府機関庫に配属
(その雄姿と重なるのは7600型をのぐ)

昭和			
16	5	/	富士身延鉄道を買収。 金手～十島間を甲府運輸事務所管内に所属させる。
16	8	/	D51型を D50型に配置替える。 (D50型は昭和40年3月31日まで甲府へ上取訪問で活躍)
17	4	/	日本交通公社(ジャパン・トラスト・ビューロー)甲府駅永出 素内所を 甲府市桜町(現中央1丁目)松林軒 百貨店内に開設し市中で国鉄のきっぷを発売。
"	"		日本通運株式会社甲府支店開業。
9	9		甲府運輸事務所 甲府保線事務所を統合 甲府管理部充足。
6	10		新府信号場 開設。
7	6		甲府市周辺の空襲により 甲府管理部庁舎 金手駅焼失。
9	6		笹子駅折返し線において列車脱線事故発生 死者60名 負傷者71名に達し 管内 未曾有の大事故となった。
11	17		第3鉄道指令部 甲府RTO 甲府駅に 開設し昭和25年1月31日閉鎖まで占領軍輸送 の要となる
21	6	15	甲府通信所 甲府駅から独立し甲府電務区 となる
22	10	14	天皇陛下行幸 荏崎御降車 大月御乗車
23	7	/	新宿～松本間 準急行列車運転
12	/		日本国有鉄道法施行にともない 公法上の 法人となる
24	2	/	甲府公安所(現甲府鉄道公安室) 開設
4	/		梁川駅開業

- 昭 和
- 24 4 17 鉄道電話 磁石式から 共電式に切換え
- 6 1 山梨交通電車と連絡運輸開始
- 25 4 4 天皇皇后両陛下 緑の週間植樹祭ご臨幸のため行幸啓 甲府駅ご乗降
- 8 1 組織改正 甲府管理部を广止
上野原～甲府間を東京鉄道管理局へ
倉王～小判沢 小判沢～清里間を長野鉄道
管理局へ
善光寺～十島間を静岡鉄道管理局へ分割
- " " 甲府輸送長及び東京営業事務所甲府営業事務所
を設置
- " " 甲府車庫区 同検車区を統合し 甲府客貨車
区を設置する
- 9 1 塩山～甲府間に電車運転開始(7往復)
- 10 15 新宿～甲府間 休日に電車運転を開始する
運転時間を1時間短縮する
- 11 23 甲 府 駅 北 口 開 業
- 26 2 1 甲府～塩崎間に 気動車運転開始(6往復)
戦時中燃料不足のため休止していた ガソリンカー
の変種とともに復活した
- 4 15 甲府機関区に EF 52.53型 電気機関車配属
スポットアンプを計る
- 12 15 塩 崎 駅 開 業
- 27 2 1 甲府輸送長及び甲府営業所を广止
甲府駐在運輸長を設置する
担当上野原～甲府間及び金手
- 10 1 鉄道80周年記念きっぷ(管内で初めての発売)
- 5 10 戦災で焼失した金手駅復旧 営業開始

- 昭 和
- 24 4 17 鉄道電話 磁石式から 共電式に切換え
- 6 1 山梨交通電車と連絡運輸開始
- 25 4 4 天皇皇后両陛下 緑の週間植樹祭ご臨幸の
ため行幸啓 甲府駅ご乗降
- 8 1 組織改正 甲府管理部を广止
上野原～甲府間を東京鉄道管理局へ
倉王～小判沢 小判沢～清里間を長野鉄道
管理局へ
善光寺～十島間を静岡鉄道管理局へ分割
- " " 甲府輸送長及び東京営業事務所甲府営業事務所
を設置
- " " 甲府車庫区 同検車区を統合し 甲府客貨車
区を設置する
- 9 1 塩山～甲府間に電車運転開始（7往復）
- 10 15 新宿～甲府間 休日に電車運転を開始する
運転時間を1時間短縮する
- 11 23 甲 府 駅 北 口 開 業
- 26 2 1 甲府～塩崎間に 気動車運転開始（6往復）
戦時中燃料不足のため休止していた ガソリンカー
の変種とともに復活した
- 4 15 甲府機関区に EF 52.53型 電気機関車配属
スポットアッパを計る
- 12 15 塩 崎 駅 開 業
- 27 2 1 甲府輸送長から甲府営業所を广止
甲府駐在運輸長を設置する
担当上野原～甲府間及び金手
- 10 1 鉄道80周年記念きっぷ（管内で初めての発売）
- 5 10 戦災で焼失した金手駅復旧 営業開始

昭和

- 28 9 23 浅川(高尾)～甲府間に電車運転開始
- 29 4 15 甲府～新宿間に快速電車運転開始
- 10 2 甲府駅前にロータリーと緑地帯をつくる
- 12 1 別田駅開業
- 30 3 31 馬車による小運送 消えてゆく
- 31 3 20 身延線 甲府～富士間に快速電車運転開始
- 32 2 5 東山梨駅開業
- 9 25 トークバック 登場(甲府駅)
- 33 7 11 ディーゼル機関車(DF50型)重連により
甲府～松本間 準急2本運転開始
- 34 9 22 中央線列車の一部を電車化 普通列車
甲府～新宿間 電車運転開始
- 35 4 25 急行列車初登場 気動車急行オノアルプス
オノアルプス 運転開始
- 6 22 安保斗争 列車始めで止まる
(0時～7時まで)
- 7 4 甲府駅長の夏服 白麻服となる(全国92駅)
- 36 1 10 石和に温泉が湧出する(石和温泉郷がこの時期
から始まる)
- 36 10 1 甲府～新宿間 ビジネス準急 かいじ号
運転開始
- 12 14 横手電信装置 設備
- 37 1 25 富士急行へ気動車による乗り入れ
(河口湖～新宿間 大月にて急行アルプス
に併結)
- 6 30 山梨交通 電車線中止(ボロデニ消えてゆく)

- 昭和
27 7 11 甲府駅へ準急券 券売機を投入 券売機の初登場
- 11 27 高尾～荏苒間 単線自動化工事完成
- 12 1 高尾～荏苒間 単線自動方式により運転開始
(タブレット消える)
- 28 3 25 甲府～長野間 小海線全通直通準急甲斐駒号、
運転開始
- 4 13 テレビ 甲府駅待合室に寄贈する
(もの珍らしく相模放送時には黒山のようになり
列車に乗り遅れた人もあったと言う)
- 9 23 山梨県及び甲府市の観光案内所を 甲府駅
に設置する
- 10 1 猿橋～大月間 復線開業
(復線化のオー一步始まる)
- 10 1 勝沼町役場に 臨時荷物所を開設し小荷物
扱いのぶどうの受託をする
- 29 3 20 身延線に準急「富士川号」運転開始
(甲府～富士間に2往復)
- 10 1 東海道新幹線開業
- " " 新宿～上諏訪間 電化完成
(旅客列車を電気機関車で運転)
- " " 新宿～上諏訪間急行電車「たてしな号」運転
- " " 身延線「富士川号」を静岡まで延長運転
東海道新幹線と接達する
- " " 急行貨物の運転開始
- " " 中央線にノボ5系 電車登場
- 10 11 オリンピック記念急行券 発売
- 40 3 18 新笹子トンネル 貫通する

昭和

40 3 20

塩山～荏崎間 電車運転開始
(甲府～荏崎間のガソリンカーノ4年間の使命終る)

3 31

S L 消える

(上取坊廃化後 貨物列車をけん引して
いたD50型蒸気機関車の雄姿は本線上
から姿を消した
・ わずが甲府駅構内の入換にCノ2型が
残るのみとなった)

7 1

松本まで電化完成

9 29

塩山～山梨市間 複線営業

10 1

新宿～松本間 電車急行運転開始
(アルプス、白馬号等 6往復)

41 3 25

日野春～長坂間 長坂～境、前宮間
複線営業開始

11 16

四方津～梁川間 複線営業開始

11 25

別田～石和間 複線営業開始

12 12

特急「あずさ」号運転

(都心まで日帰りができる時代の幕明け
となる)

(甲府～新宿間2時間07分)

12 12

笹子～初鹿野間 複線営業開始
(新笹子トンネル使用)

12 12

初狩、笹子のスイッチバック終了

42 2 10

甲府～梁川間 電話自動交換化

3 20

甲府駅にみどりの窓口開設

(座席自動予約装置「マルス」を設置し指定券
が全国の列車発売できるようになった)

4 26

フッペン列車「潮風号」(潮干狩専用列車)
を管内で始めて運転

昭和

42 6 21

甲府駅で コンテナ基地開設
(県内唯一のコンテナ取扱を開始)

7 23

身延線全由 沼津海岸へ海水浴ワッペン列車
を運転する

11 13

甲府市飯田町に 電車留置線7本を新設し
使用開始する

12 25

舞鶴跨線橋完成

(南北市街が分断されていたが完成により便利
になった)

(将町 変所町踏切の交通量が減少した)

(甲府駅の入場券が減少した)

43 1 30

山梨市～別田間 複線営業開始

2 1

甲府駐在運輸長を 甲府運輸長と改稱する

4 6

101系電車 臨時列車として新宿～甲府間
を運転

(トイレの設備がなく不評をかう)

4 13

東京日帰り お徳用きっぷ 発売する
(甲府地区企画商品のはじめ)

8 13

うら金の甲府始発列車に着席券を発売
(着席券のはじめ)

8 27

相模湖～上野原間 複線営業開始

8 30

初鹿野～塩山間 複線営業開始

8 30

勝沼駅 スイッチバック止

9 20

深川～猿橋間 複線営業開始

9 24

上野原～四方井間 複線営業開始

9 28

甲府～竜王間 複線営業開始

(複線化70% 完成 輸送力増強は
コンサントウの合言葉のもと着々と準備
を進める)

昭和
43 10 1

白紙ダイヤ改正

特急 急行 大増発
(特急 ぬすき号 4往復)
(急行 アルプス号 8往復)
(急行 かいじ号 4往復)
特急 大月駅に始めて停車する

急行 大増発 止
(かいじ号 急行に格上げして
運転時間を短縮する)

10 5 昇仙峡 ぶどう狩エッパの受入れ
(エッパ受け入れのはじめとなる)

44 1 28 石和～酒折間 複線営業開始

3 1 東京鉄道局を 北 南 西 の3局に分割
して当管内は 東京西鉄道管理局となる

7 16 甲府駅構内 継電連動装置使用開始

9 28 甲州ぶどう号 館山～甲府間(臨時列車)
を運転
(ぶどう号運転により京浜地区からぶどう
狩が定着する)

11 19 甲府駅ほか 無線基地を廃局する

45 2 4 中央線複線化に伴う 金平～善光寺間の線路
切替工事完了

3 31 甲府駅構内の入換機 SL Cノ2型消える

3 31 「さようなら 蒸気機関車 記念きっぷ発売
(甲府 塩山2駅 消えゆくSLの人氣で
発売ノ時間で売り切れ)

4 1 甲府駅構内 入換機DL運転開始

4 11 信玄公祭り始まる

(甲州軍団出陣 甲府駅前において一大絵巻
展開する)
(臨時列車 信玄号 を運転する)

昭和

45 4 18

「さもうなら 蒸気機関車 信玄号甲府～塩山

間運転

列車番号

8544レ

8543レ

編成

Cノ2型

ハ5両

Cノ2型

乗客は満員となり

名残をおしを

沿線にはカメラの砲列が並ぶ

列車は遅れ

が生じた

8 20 甲府駅 貨物営業センター開設

9 16 塩崎～荳崎間 複線営業開始

9 22 荳崎～新府間 複線営業開始

9 29 酒折～甲府間 複線営業開始

” ” 酒折～甲府間 複線化により甲府～新宿間
ノ23.8和 全線複線化となる

10 1 営業新体制発足

1 梁川 笹子 勝沼の各駅業務委託

2 東山梨 別田 金手の各駅を駅員無配置化

3 甲府 大月 甲府機関区 甲府客貨車区の
清掃業務委託

4 甲府駅 大月駅に旅客営業センター発足
(旅行センターの幕明けとなる)

10 1 通勤快速 甲府～五川間運転開始
(甲府地区も 東京への通勤 通学圏に
入る)

12 1 竜王～小判沢間 東京西鉄道管理局に編入

1 甲府運輸長担当区域となる

2 県下は3局に分割されたが中央線が西局に
編入されこれとは運輸業会に光明を与えた

3 ハッ岳 清里方面の観光に一役買う

昭和

46 4 1

甲府駅レンタカー 発足。

4 1

信玄公祭り記念さっふを甲府 塩山両駅で
発売する。(3種類)

5 2

初鹿野駅において アルプス2号(下り)
のホロ燃焼 負傷者4名でる。

5 31

暖房車の運行中止。

6 2

デスカバー ジャパン ポンパネ 運転
甲府駅で 展示する。

6 4

企 上 上野原駅で展示する。

7 24

海水浴場 うなばら号 甲府～沼津間を
運転する

9 8

穴山駅 新ホーム使用開始
スイッチバック中止

9 11

YTM 全国交歓大会 河口湖 富士急
ハイランドで開催

9 13

身延線 金手～善光寺間の線路かん設事故
発生

(9月13日～9月17日 17時まで5日間
甲府～南甲府間バス代行輸送)

9 28

新府～日野春間 複線営業開始
(新府～日野春間複線に伴い 新宿～
小判沢間複線化完成)

10 8

増富 昇仙峡紅葉エック受入れ
(新観光地 開発の第一歩)

47 1 14

奇 怪 の 事 故 発 生

21時46分頃 甲府発上諏訪ゆき445
列車が両編成の1,2号車両の連結器がはずれ
次の竜王駅まで運転 8両が甲府駅3番ホーム
に残るといふ事故が発生した。

昭和

47 / 14

局長死々23列車 537列車へ爆発物を仕掛けたと言う手紙が届き 警戒したが無事もなかった。
(管内では初めての脅迫であった)

1 / 26

山梨県中学校修学旅行会 発足。
(修学旅行に於いて国鉄との交渉が始まる)

2 /

竜王～小判沢間 営業近代化が始まる。

1 塩崎 新府 穴山駅の駅員無配置化。

2 竜王 小判沢へ貨物集約。

3 日野春駅長をナ止し 長坂駅長の管理。

3 / 3

E10ク-1型電気機関車(電化完成当時に運転したもの) 山梨県に貸渡し。

3 / 15

通勤快速、ビジネス急行が116号及び通勤列車2往復を小判沢まで延長運転。

富士川6号を80系から165系に改善。

3 / 21

中央高速道西宮線 大月市岩殿山 地すべりのため約1箇月間不通となる。

4 /

甲府駅旅行センター開設。

4 /

昇仙峡グリーンライン開通。

6 / 27

甲府機関区労使紛争により逮捕者がでる。

9 /

甲府コニテナ基地 開設。

9 / 10

新府駅 営業開始(信子場から昇格)

9 / 14

穴山駅 乗車券の発売を塩崎市に簡易委託

9 / 16

台風20号 県下に被害を及ぼす。
(17日10時開通 約4000食の給食)

10 / 2

甲府特急誕生 特急6往復となる。
富士川号増発 急行6往復 内1往復三島まで

昭和

47 10 2

新宿～身延間 直通急行のぶ号 誕生。

身延線 営業近代化 発足。

長坂駅 スイッチバック止。

(管内の名物スイッチバックは全部姿を消した
ことになった)

10 14

鉄道100年記念行事

1日駅長 甲府駅 富士駅
駅史の展示 甲府駅 大月駅

11 18

長坂駅に急行停車。

48 4 1

東京西局 山梨観光連盟に加盟する

営業部長は連盟副会長に
甲府旅行センター所長は理事に就任する。

4 1

定期観光バス 甲斐路めぐり 登場

4 24

都内各駅に騒乱事件発生 22時以降翌日
12時40分まで 列車運転不能となる

5 24

サントリー ファイナリーデステラリー両所
新宿～小判沢間臨時特急を運転する

5 25

山梨県 民宿会議発足 大手業者とクーポン
契約を結ぶ

7 10

中央線 電車化

新宿～長野間 425～426 422～421の2往復
のみとなる

7 15

SL観光号 小海線に運転

小判沢駅は空前の賑わいを見せる

10 1

SL特急誕生

塩山 笹崎 小判沢 に特急停車

10 1

特急大増発

通勤電車塩山～小判沢間2往復増発

昭和

47 / 11

山梨市駅において列車衝突事故発生
幸い負傷者はなかった。

4 / 10

交通ゼネスト (96時間)
4月10日～4月13日8時30分まで列車がとまり
県内通勤通学の足が乱れた

6 / 16

小海線 C55型蒸気機関車を高根町へ貸渡
清里高原に展示する。

7 / 1

台風ノ6号 県下に被害を及ぼす。
甲府～上野原間各所で線路寸断 各駅に列車
を抑止する
9時56分から20時まで不通
給食3052食

7 / 25

列車火災発生
笹子トンネル内で急行アルプスノ号の4号車
が火が出ているのを発見 トンネル内で
で停車し消火器をもって消火ノ4分間停車する。
事故が発生した
トンネル内火災の対処方が問題となる。

50 / 3 / 10

中央線全電車化なる。

これにより 定期列車のうち客車列車は
なくなった。
ゆずがに 臨時急行たてしなノ号が残る
のみとなり 箱型キヤホップがなくなり登山客
の御愁への抵抗もなくなってしまった。

6 / 3

笹子トンネル内で雨に落雷により 車両故障
事故があり 幸い火災にはならなかった。
(内容)

540M (甲府発ノ2時ノ5分高尾ゆき)
乗客300名が2時向50分にゆたりトンネル
内にとじこめられという事態となりトンネル内
事故の対処方の議論が一段と高まった。

6 / 17

小判沢町へ C55型蒸気機関車を貸渡し小判沢
役場前に展示した。

昭和

50 7 5

新型特急電車 ノ 87系登場
不評のノ 81系と順次おきかえとなる。

50 11 26

スト権スト

11月26日0時から 12月3日～24時まで
空前ノスト時間のストライキ続く
通勤 通学旅客の足が乱れる

12 21

ノ 81系おきかえ終了

51 1 7

甲府駅旅行センター 出発室等の拡張完成

2 6

小海線 電化促進陳情 当局は中止を検討を
提示 電化が中止が世間の注目をあびる

3 18

中央線 普通電車 ノ 5系おきかえ完了
(新型車両数ノ両)

3 23

猿橋駅 跨線橋完成 (着工 51. 11. 10)

3 26

長坂駅 下りホーム延長(70m)完成使用開始

4 1

甲府駅旅行センターにマルス(202型)
団体グループ専用指定発売機を設置

4 20

春斗スト

ノ 7日夜行から22日4時まで 中央線
身延線とも完全ストップ(52時間)
通勤 通学客の足完全にマヒ

5 24

行政監察局立入り監査実施さる
24日塩山 25日竜王 27日28日甲府

6 14

甲府駅 電留線にて転てつ器割出し事故発生

6 16

県東部(都留市)を震源地とするマグニチュード
5.7の大地震発生 6時30分～7時30分
列車が止まる

- 昭 和
- 53 2 3 山梨市～東山梨間で架線故障 上り線4時間不通
- 6 20 除草剤散布で 線路沿いの果樹枯れる
- 7 8 運賃改定
- 10 1 料金改定
- 10 2 列車ダイヤ改正
あすこ5往復 12両編成
急行かい往復 上野原停車
定期快速列車と普通列車に変更
かい号指定席と自由席に変更
- 10 16 長野国体で中央線 御召列車運転
- 11 3 県立美術館開館
- 12 19 石和～酒折間 才四有接街道踏切で427Mが
大型ミキサー車と衝突 上下線9時間不通
- 54 1 1 通学定期運賃改定
- 1 30 県下記録的な降雪(大月駅構内積雪74cm)
列車大中遅延
- 2 12 若草町農村公園に ED1615型廃式機関車
貸与展示
- 5 7 竜王～笹崎間で悪質な列車妨害発生
直径50cmの石2個469レはれるATS故障
- 5 20 運賃改定(運賃のみ)
- 7 5 甲府～竜王間で悪質な列車妨害発生
長松寺踏切の支障報知装置のいたずら
- 8 1 中央道高井戸～勝沼 料金改定申請
- 8 10 勝沼バイパス全線開通

- 昭和
54 10 5 列車脱線 岡谷～川岸間
連休ノ4本 100分～10分の遅延25本
- 10 19 台風20号果下に被害を及ぼす
中央線 19日20時開通
身延線 24日初雁開通
- 55 3 26 中央道 甲府昭和～笠崎間開通
- 4 20 運賃改定 (平均2.3%)
- 4 23 中央道料金改定 (平均11.5%)
- 8 1 万百分比 白窓適用
- 8 4 上野原 跨線橋完成
- 10 8 近畿日本ツーリスト 新築移転営業開始
- 10 23 勝沼駅 新築営業
- 56 1 2 甲府～酒折間 金平踏切でノ404Mと乗用車
が衝突 3名死亡 1404M運転打切
後続列車がおくれる
- 3 9 上野原 自由通路完成
- 3 30 中央道 小淵沢～伊那比間開通
- 4 20 運賃改定 (平均4.9%)
- 4 22 国分 勸業スト
22日15時～23日12時まで果下の通勤
通学の足が乱れる
- 6 6 山梨市駅 横森職員殉職
- 6 17 身延線 新型ノ15系投入
- 7 1 通学定期修正分改定
- 7 4 小海線 集中豪雨により不通
4日11時30分開通

- 昭和
- 56 7 18 小判沢駅に特急あずさ号 停車
- 10 1 小判沢～信濃境間 復線営業開始
- 10 1 石和駅に特急あずさ号 停車
- 10 23 甲府駅 小荷物業務民託
- 57 1 10 特急あずさ号 12月17日初将駅構内で架線切断
事故 発生17時00分 廃止22時
バス代行22本 列車のあけ目立つ
- 2 25 身延線 CTC化完成
- 3 18 自由民主党 国鉄再建小委員会立ち上げ調査
甲府駅 大月駅 大月保線区
- 4 5 社会党 調査団現場視察
大月保線区 大月駅 甲府機関区
甲府客貨車区
- 4 20 運賃改定 (平均6.2%)
- 4 29 竜王駅 4号線入換中貨車脱線
幸い列車運行に支障がなかった
- 5 16 大月駅 小荷物業務民託
- 5 28 烏沢駅構内で特急あずさ号脱線
5月28日29日 中央線ストップし旅客の足が
乱れる
- 6 23 東北新幹線開業
北へ向って新幹線東北を走る
- 8 2 台風10号暴下に被害を及ぼす
中央線 8月8日 身延線 8月6日
小海線 8月20日 廃止
- 8 25 職場規律、乱れ各新聞に掲載さる
- 9 1 通学定期割引率の改正による運賃改定

昭和

57 9 12

台風ノ影響下ニ被害を蒙る
中央線 9月13日 上越線 9月15日
上越線 9月31日 開通

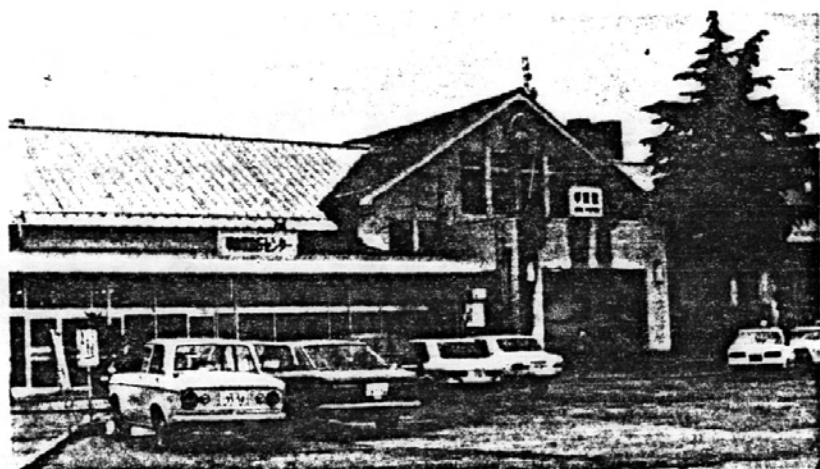
10 1

富士急行 荷物廃止トラック輸送となる

10 16

台風ノ影響による富士川鉄橋完成し上越線
静岡まで全面運転

改良が予定される甲府駅



57 11 10

中央道全線開通

11 15

上越新幹線開業

11 15

全国的にダイヤ改正

